

豚熱の野生いのししでの広域拡大防止対策について

国内の養豚場では今年に入ってから3県4農場で豚熱の発生があり、約35,000頭が殺処分されています。また、感染源とされる野生いのししでは、県内においても豚熱ウイルス陽性個体が引き続き検出されており、野生いのししの中で豚熱ウイルスが維持されています。

今後、野生いのししで豚熱ウイルス感染が活発化すれば、農場での豚熱発生リスクも高まると考えられます。

豚熱ウイルスは野生いのしし間で直接感染するだけでなく、人や物を介して運搬され、飼養豚に感染します！！

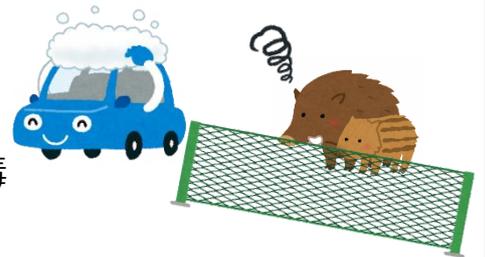


豚熱の発生リスクを低下させる取り組み

豚熱ウイルス陽性の野生いのししが生息する地域から感染が拡大することを防止するため、人、車、動物への対策が重要です。

- 運送や工事等を行う業者に対する車両の洗浄・消毒
- 飼養衛生管理基準の遵守

防護柵の維持管理やゲート開閉の管理等の野生動物の侵入防止対策等



引き続き豚熱の感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

神奈川県県央家畜保健衛生所

〒243-0417 海老名市本郷3658
電話：046-238-9111 ファクシミリ：046-238-9124
メールアドレス：ken-oukaho@pref.kanagawa.lg.jp



県央家保HP

